

事業報告書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
JRECO 情報処理センター

法第七十九条第二項に基づき、令和7年度のJRECO 情報処理センターの事業報告をする。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

① 情報処理業務の内容

令和7年度の年間登録件数と令和8年3月31日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数、機器管理番号（点検整備記録簿）発行数は次のとおりである。

- ・ 登録件数（処理件数） 2,665件

令和7年度の登録件数は、前年度とほぼ同じ2,665件（前年度比15件減）となり、計画数値（3,500件）には達しなかった。利用時期は年間を通して利用されているが、春から夏と年明け1月、年度末の3月に特に多くなっている。

（添付資料A）情報処理センター外の登録件数は、定期点検が16,962件（前年度比約35%減）、簡易点検が537,028件（同約7%増）、また機器廃棄時の行程管理票が12,022件（同約3%増）であった。

- ・ 登録事業所数

管理者・廃棄者 27,557

充填回収業者 2,904

（なお、充填回収業者について1事業所が複数の都道府県に登録している場合で、都道府県ごとに数えると延べ8,224）

- ・ 機器管理番号（点検整備記録簿）発行数 354,559

（参考：令和7年3月31日現在は305,904）

② 情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と効率的な実施

人員体制は、令和7年度事業計画の業務を遂行するために情報システム部2名体制としてシステムの適正な運用に当たり適切に対応した。また、一日10～20件ほどある電話やメールによる問い合わせ対応や情報処理センターの普及啓発活動について、企画・調査部とも連携を図り効率的に実施した。このように日々蓄積したノウハウを活かしてマニュアルや操作説明動画等の作成、見直しを適宜行い当機構のホームページに公開し、ダウンロードできるようにして利用者の便を図ってきた。

経理に関しては、預け金（ポイント）方式では情報処理センター利用のために預託された預かり金と情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭、また、請求書による銀行振込（後払い）方式では情報処理センター利用に応じて発行する請求書に関する金銭徴収について、インボイス制度や電子帳簿保存法を遵守した形で、収支計画書に基づき適切に処理した。前年度末に黒字となった一般正味財産残高は、令和7年度でさらに利益を増額し期末残高は12.9万円となった。（事業収益293,150円＝登録件数2,665件×110円）

なお、分離会計におけるRaMS事業から情報処理センターへの費用配分に用いる按分比率については、売上比率および人頭比率を併用し勘定科目に応じてより実態に即した方の按分比率を用いて行っている。

（２）情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

① 機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器について、情報処理業務は事業計画内で推移したので、データ処理及びデータ容量には十分な余裕があり、機器の更新や拡充は行わなかった。現在のデータ容量の使用領域は51.6GB（OSなどを含む全使用容量）であり、自動拡張可能なストレージ容量64TBの0.08％である。

また、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や効率性を高めるため、次のようなシステム仕様の変更や追加を随時行い、継続的に改善を図り適切に実施した。

- ・ 情報処理センター登録時等における「作業年月日」未来日付不可仕様
- ・ ログブックの有効期限（有効期間）を1年後の月末まで延長
- ・ 簡易点検一括登録の選択フォーマット対象機器の網掛け表示、「その他」フォーマットの名称登録
- ・ RaMS-ex ボタン表示変更
- ・ クラウド用リレーショナルデータベースのインプレースアップグレード

② システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、安定した運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアーウォールによる接続制限を設けている。

また、システム開発や維持管理業務は、外部委託による運用管理会社（専門業者）と連携し実施しており、開発内容や仕様変更など、不定期ではあるが1～2週に一度程度の情報交換を行っている。

具体的な取組としては、情報セキュリティの観点から、JRECOからのサーバーへの直接アクセスも行えない仕組み（アクセスはWeb経由のみ）となっており、万一JRECO内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターの

システムは隔離された環境としている。さらに、不具合発生時の対応やサーバーの CPU 使用率によりシステム運用状況の監視も行った。

このように、システムの安定した運用については、令和 7 年度中は支障なく維持されてきた。

(3) その他必要な事項に関する事項

令和 7 年度は情報処理センターの認知度を上げ、利用の普及・促進を図るため下記の活動を行った。

- ・ 情報処理センターの利用に関する説明会（Web 及び来場型）を計 13 回開催（参加者数 480 名）（添付資料 B）、他にも利用者の要請による個別 Web 説明会を開催
- ・ フロン対策格付け表彰式・情報交流会を開催（添付資料 C）
- ・ 国の要請により、中国 生態環境省訪日研修（OECC）においてフロン排出抑制法及び RaMS の説明を実施
- ・ HVAC&R JAPAN 2026（第 44 回冷凍・空調・暖房展）（1 月 27 日から 1 月 30 日）の情報発信コーナーに出展（添付資料 D）
- ・ フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイトを公開、動画配信サービスや SNS 媒体を利用した周知、広報活動の実施
- ・ 分かり易い提案説明書を作成し、製造業者、スーパー等小売業者、食品加工業者、ビル管理会社、大学、病院をはじめとする潜在利用者 100 社以上に個別に接触し紹介や説明を実施、また、関連団体及びその傘下の企業へ電話、メール等による周知、広報活動を実施
- ・ 地方自治体の要請に応じて、法令及び情報処理センターの利用に関する講習会・説明会に講師を派遣及び資料を配布
- ・ 大手上場企業等に SDGs（持続可能な開発目標）としてフロン類管理を CSR（ESG）報告書に記載することを啓発、また、法令遵守に関して CSR・環境関係の情報提供機関、弁護士事務所と連携して周知活動を実施
- ・ 情報処理センター利用者へ情報メール（Tips）の発信、情報提供サービスの強化
- ・ ホームページで利用者の法人名、ロゴマークの公開、事例等を紹介（添付資料 E）
- ・ 業界紙、関係団体（日設連・東冷協）会報に広告、記事を掲載（添付資料 F）
- ・ 国や地方自治体へ検討資料用として、秘匿性を確保した形（統計データ）で RaMS データを提供

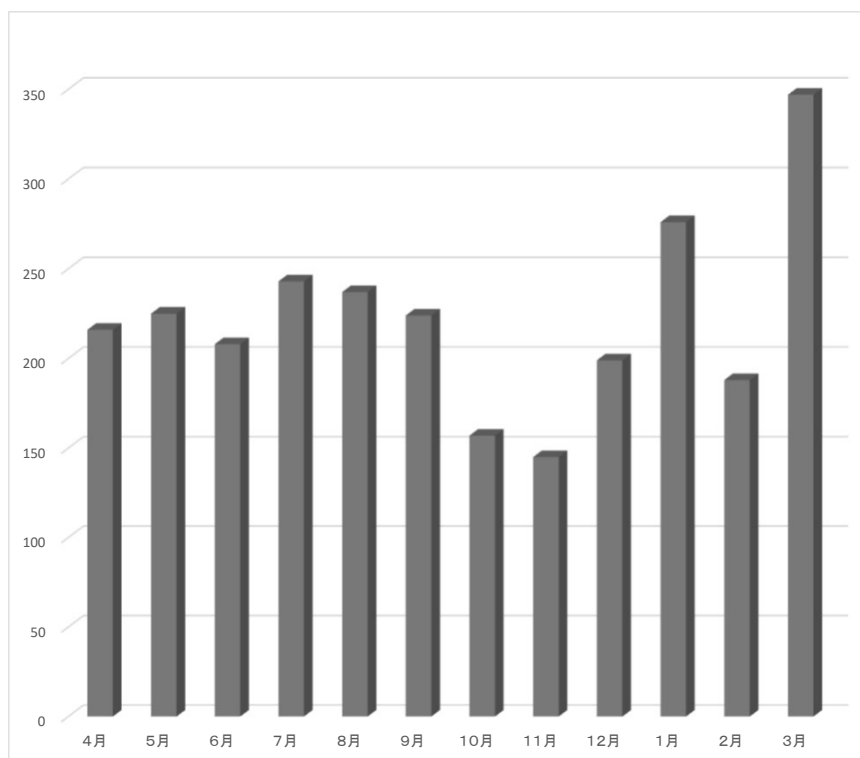
[添付資料]

- A. 情報処理センター利用実績
- B. 令和 7 年度説明会
- C. フロン対策格付け表彰式・情報交流会
- D. HVAC&R JAPAN 2026（第 44 回冷凍・空調・暖房展）
- E. 利用法人名・ロゴマーク掲載
- F. 業界紙広告（空調タイムス）、関係団体会報広告（冷凍空調設備、東冷協だより）

情報処理センター令和7年度利用実績

令和7年度情報処理センター登録件数(充填・回収)R7実績

4月	216
5月	225
6月	208
7月	243
8月	237
9月	224
10月	157
11月	145
12月	199
1月	276
2月	188
3月	347
計	2,665



令和7年度 RaMS(冷媒管理システム)説明会

	開催場所(都市名)	開催日	申込者数	定員数	受講者数計
1	東京都(Web生配信)	2025/5/14	86	100	71
2	東京都(Web生配信)	2025/7/8	113	100	92
3	東京都(来場型)	2025/9/3	57	100	56
4	東京都(Web生配信)	2025/11/19	95	100	87
5	東京都(HVAC&R展)	2026/1/27(1回目)	—	20	8
6	東京都(HVAC&R展)	2026/1/27(2回目)	—	20	5
7	東京都(HVAC&R展)	2026/1/28(1回目)	—	20	6
8	東京都(HVAC&R展)	2026/1/28(2回目)	—	20	11
9	東京都(HVAC&R展)	2026/1/29(1回目)	—	20	5
10	東京都(HVAC&R展)	2026/1/29(2回目)	—	20	10
11	東京都(HVAC&R展)	2026/1/30(1回目)	—	20	8
12	東京都(HVAC&R展)	2026/1/30(2回目)	—	20	8
13	東京都(Web生配信)	2026/3/3	124	100	113

480

フロン対策格付け表彰式・懇親会〔2025年5月26日開催〕

関連資料：第4回 JRECO フロン対策格付け～「フロン排出抑制法」遵守状況

https://www.jreco.or.jp/data/2024_Kakuduke_Ranking_0206.pdf

フロン対策格付け表彰式・懇親会を開催しました

JRECOは、2025年5月26日、東京都港区の機械振興会館にて「フロン対策格付け表彰式・懇親会」を開催しました。

本イベントは、JRECOが実施する「フロン対策格付け」において、最高評価であるAランクを受けた企業の皆様に表彰状を授与し、併せて意見交換を通じた情報交流の場を設けることで、フロン類機器管理の更なる適正化を目指すものです。

当日は、環境省、経済産業省、東京都など関係行政機関からご来賓をお迎えし、全国から94社のAランク企業のうち38社が出席。各社に表彰状をお渡ししました。表彰企業を代表して、積水ハウス株式会社様より「法令順守のため全社一丸で冷媒の適正管理に取り組んでいる。今後はJRECOの冷媒管理システム『RaMS』をグループ会社にも展開したい」との力強いコメントをいただきました。

表彰式後の懇親会では、参加者同士が積極的に情報交換を行い、フロン排出抑制に向けた連携の輪が広がりました。

※「フロン対策格付け」について

プライム市場上場企業1,641社を対象に、統合報告書やSDGsレポート等をもとにJRECOが独自の視点と基準で評価する取り組みで、企業のフロン排出抑制や機器管理の状況を5段階（A～E）で格付け、公表しています。

2021年度から始まり、年々評価の精度と認知が高まっており、Aランク企業は第1回16社、第2回49社、第3回76社、第4回(今回)94社と増加しています。



<表彰企業38社記念写真>



<懇親会の様子>

(JRECOホームページ https://www.jreco.or.jp/info_20250526.html)

HVAC&R JAPAN 2026

ヒーバック&アール ジャパン2026
第44回冷凍・空調・暖房展

2026 1.27 TUE → 1.30 FRI

会場:東京ビッグサイト ヒーバック
主催:一般社団法人 日本冷凍空調工業会
The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association(JRAIA)



1月30日 金	
プレゼンテーション ステージ	ホールステージ
10:00 講演④ 富士経済 吉田 颯	『冷媒循環型経済の 実現に向けて』 【第1部】 基調講演:環境省 【第2部】 プレゼンテーション: ・日本冷媒・環境保全機構 ・東京都 環境局 ・阿部化学 ・早稲田大学 【第3部】 パネルディスカッション
11:00 講演⑤ Pureblu Technologies Pvt Ltd / Nova HVAC Systems India Pvt Ltd CEO Ajit Panicker	
12:00	
13:00 日本冷凍空調 工業会④ A2Lビルマル、GL関連	基調講演IV 豊田SI技術士事務所 豊田 武二
14:00 講演⑥ 日本冷凍空調設備工業連合会 大沢 勉	出展者 プレゼンテーション ジョージフィッシャー株式会社
15:00 講演⑦ 日本冷媒・環境保全機構 作井 正人	HVAC&R アワード 「ソリューション・サービス」部門 受賞者 プレゼンテーション
16:00	

HVAC&R JAPAN 2026 情報発信コーナー

**代替フロン(HFC)は
貴重な資源です**
冷凍空調用フロンは
回収しリサイクルへ

フロン法のうた

作詞・作曲:大西
うた:中村

RaMSの 改正フロン排出抑制法対応

今年の4月1日から改正フロン法が施行され、機器廃棄時のフロン回収率が厳しくなり、罰則が関係者から直接罰金になります。

1. 今年度の改正において最も重要な点は、機器廃棄時のフロン管理です。RaMSは、フロン管理の記録が可能なほか、点検記録簿の作成や建物解体時に必要な事前確認結果報告書など必要な書類一式にクラウド上で管理が可能になります。

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

点検記録簿 (点検記録簿)

事前確認結果報告書

JRECO ブースではフロン排出抑制法の周知、
RaMS、情報処理センター利用をPR

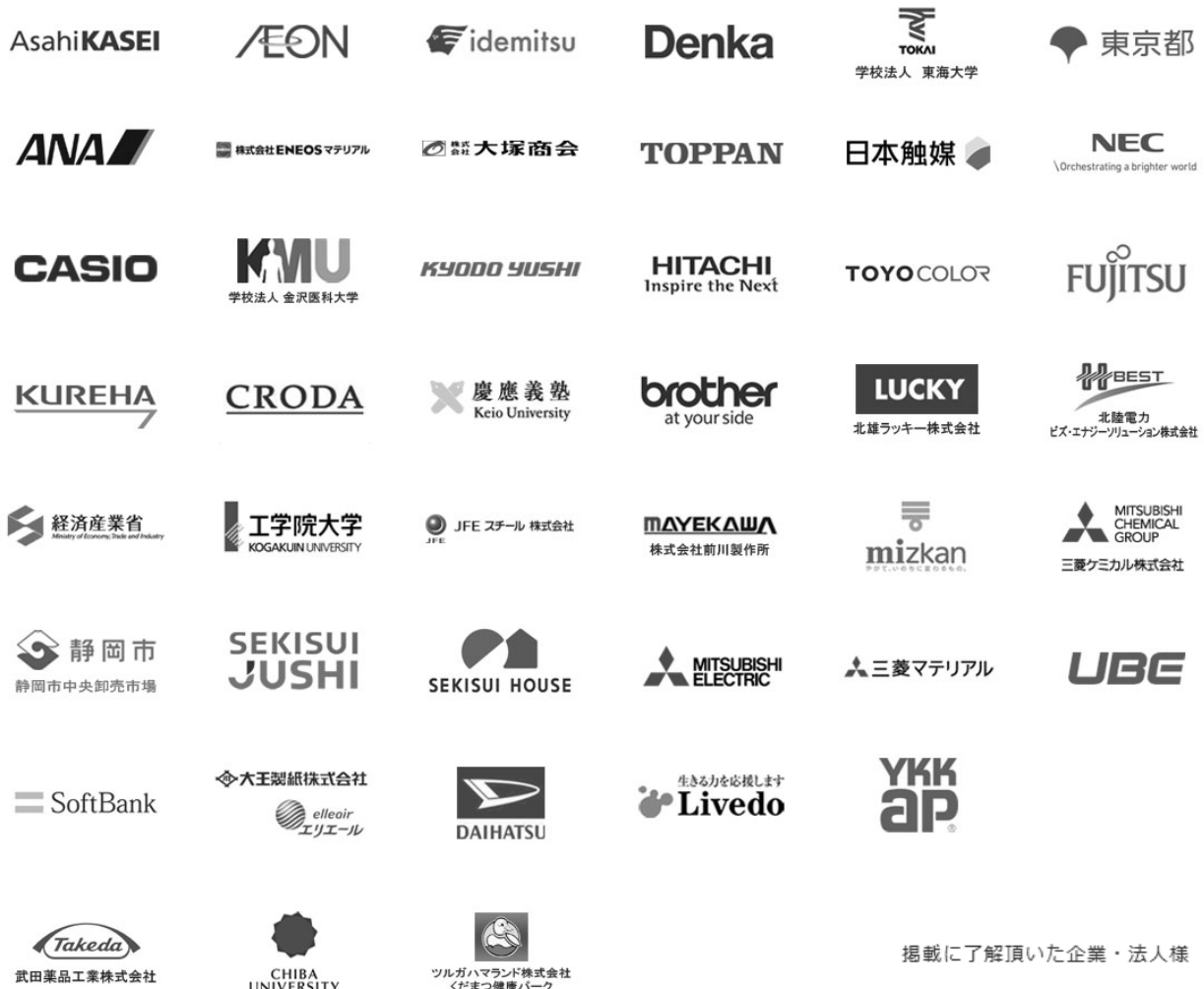
利用法人名・ロゴマーク掲載 (https://www.jreco.or.jp/rams_jirei.html)



〒105-0011
東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 406-2
TEL: 03-5733-5311 FAX: 03-5733-5312

団体概要	事業内容	会員	情報セキュリティポリシー	アクセスマップ	English
------	------	----	--------------	---------	---------

RaMS導入事例とご利用企業・法人例（五十音順・敬称略）



掲載に了解頂いた企業・法人様

RaMS導入事例

- ・株式会社 クレハ
- ・積水化学工業株式会社
- ・積水ハウス株式会社
- ・デンカ株式会社
- ・三菱マテリアル株式会社 若松製作所
- ・北雄ラッキー株式会社
- ・学校法人 慶應義塾
- ・北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社
- ・旭化成株式会社 水島製造所
- ・イオンディライト株式会社
- ・UBE株式会社 宇都ケミカル工場

RaMSご利用されている企業・法人例（名称掲載を了解頂いたもの）

- | | | |
|---------------------------|--------------------|------------------------|
| 旭化成株式会社 水島製造所・鈴鹿製造所・川崎製造所 | 出光興産株式会社千葉事業所 | 国立大学法人 千葉大学 |
| イオングループ（23社） | 株式会社ENEOSマテリアル | ツルガハマランド株式会社 くだまつ健康パーク |
| ANAホールディングス株式会社 | カシオ計算機株式会社 | デンカ株式会社 |
| 株式会社 大塚商会 | 協同油脂株式会社 | 学校法人 東海大学 |
| 学校法人 金沢医科大学 | クロージャパン | 凸版印刷株式会社 |
| 株式会社 クレハ | 経済産業省 | 株式会社 日本触媒 |
| 学校法人 慶應義塾 | | 株式会社 日立製作所 |
| 学校法人 工学院大学 | | ブラザー工業株式会社 |
| JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区） | シャープ株式会社 | 北雄ラッキー株式会社 |
| 静岡市中央卸売市場 | 積水化学工業株式会社 | 北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社 |
| 西武鉄道株式会社 | 積水ハウス株式会社 | 株式会社 前川製作所 |
| 積水樹脂株式会社 | 大塚製紙株式会社 可児工場・三島工場 | 株式会社 Mizkan Partners |
| ソフトバンク株式会社 | 武田薬品工業株式会社 | 三菱ケミカル株式会社 |
| ダイハツ工業株式会社 滋賀（竜王）工場 | | 三菱マテリアル株式会社 若松製作所 |
| | | 三井物産株式会社 野田工場 |
| | | YKK AP株式会社 |

クラウド型冷媒管理システム「RaMS」(ラムズ)とは？

プロ」提出抑制法による「唯一の情報処理システム」として国に認められている一般対法法人は本企業、環境保全機構（通称「J-RECO」）が設置するクラウド内政管理システム「R a M S」の点検記録簿は室外機1台につき、概ね500円で記録が可能。年度末記録、更新料総計100円で利用可能である。また、報告者による養育費の支払履歴は、1件あたり税別100円で、「行政」の起算「セブ」の記録は、1台あたり税別100円となっている。行政法対応のクラウド内政管理システムには「基本機能利用料なしから無料」といってもいい。利用に費用がかかる分「R a M S」は不利になるが「プロ」法によって認められた唯一の情報処理センターである「J-RECO」の基礎システムである「R a M S」には、厳しい情報セキュリティ法に課せられている「情報セキュリティ法」の厳格な規定が適用される。また、「行政」が評価されていることは、相化、大東、U E S、ジョー、フットバンク、三菱ケミカル、武田薬品工業、東海大学、イオングループ、カオ計算機、三菱鉄道、日野製作所など企業グループの顔ぶれからも明らかだが、一昨年から東京にもユーザーに加わった（編集部註：ユーザー名公開された企業を団体名としてから示す）。「R a M S」について「J-RECO」は、2020年12月28日、示された。このように、行政法で改正された「R a M S」は、2022年8月の、いわゆる「常時監視」の導入である。これは「報告者の判断基準」の変更に伴うものだが、「R a M S」では簡易機械の記録方式のみで「常時監視」を採用した場合は利用不可能となっている。更に2023年4月のG W I D に関する告示の変更等により早く「R a M S」利用6年度における報告などにもスムーズに対応できるよう「R a M S」利用者の利便性を図る

冷戦時代の閉鎖日本を脱却し、
 といふ、おどろきやな
 とは無数の知人の言葉
 には、誰れも分らない
 の関心と参加とに、
 地を越えて、
 みが結した。その取組
 た「ラオス開港は今年
 5月26日に開港してい
 る、ラオス開港は今年
 2月26日、開出
 開港に、
 を、東部国境の橋渡し
 ングの形式と、橋渡し
 った。と、
 開付けは、
 関係は、
 開解、認識、法連の



「フロン対策格付け 2024」表彰式

[illegible]

社会認知上昇がさらなる利用拡大を促進 高ニーズ業界への提案強化へ

JRECO
クラウド型
冷却管理システム
RAMS



来年の「HVAC&R JAPAN 2026」でもPRを予定(写真は2024年開催時の同機構ブース)

[illegible]

affinity
伊藤弘孝
エスベック
カガチアビ
三機工業
ジャムコ
住友商船
機軸ハウス
ダイキン工業
中外製薬
デック
東京瓦斯
東洋水産
ニコン
日東工業
日本京瓷サービス
東日本旅客鉄道
フランク
富士フィルムホールディングス
富士化成工業
ミヅノ
森永食品
ヤマハホールディングス
(50音順)

来場型セミナー×パネルディスカッション

[illegible]

は、3月3日、同機材を管理するシステムR・M（ラック）の末梢型ミニコンピュータシステム・タンク（約1000台）の購置を得、開催した。

「東海セーラー」は、ハードウェア・ソフトウェア・プログラムとして、同会長の「第一郎

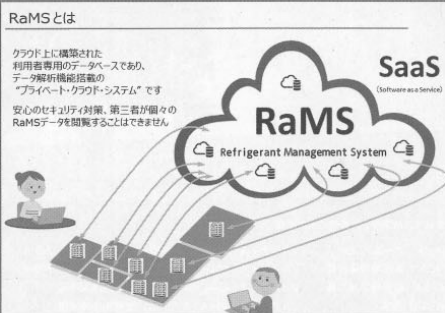
[illegible][illegible][illegible][illegible]

令和2年4月に
改正フロン排出抑制法が
施行されました。
BaMS利用で

企業価値UP!

- ① 今回の法改正では、フロンを含む機器を廃棄する際の規制が一段と厳しくなっています。
- ② 書面の管理・保存が厳しく求められ、間接罰から直接罰化がなされています。
- ③ RaMSはフロン機器の管理支援ツールとして法改正にも対応し、ペーパーレス化や事務作業の省力化に貢献します。

(一助) 日本冷媒・環境保全機構はRaMSを運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、**経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています。**



**RaMSは2011年よりフロン法の変遷に電子的に対応し
2020年の改正法にも完全に準拠します!**

BaMS (冷媒管理システム) に関してのお問い合わせは



一般財団法人 **日本冷媒・環境保全機構**
Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

電話

(03) 5733-5311

月～金曜日(祝・祭日除く)
(9:00～17:00)

URL

<http://www.jreco.or.jp>

令和7年11月15日発行(毎月1回15日発行)第52巻 第11号 通巻600号 昭和50年7月4日第3種郵便物認可 ISSN 0285-5062

冷凍空調設備

REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

11

Vol.52 No.11
2025 November

令和6年度 冷凍空気調和機器施工
試験問題解答・解説2級
銅管フレア加工・ろう付技術講習会
優良省エネルギー設備顕彰事例募集



広島城(広島県)



一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構は RaMS を運営提供するとともに、
「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から
「情報処理センター」として指定されています

**「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球
環境の改善に貢献する環境先進企業へ**

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail：contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

TRK

令和7年7月1日発行

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

東冷協だより

2025. **7・8**
No.450

● 目 次

・ 今、思うこと	1	・ 行事予定	33
・ お知らせ	2	・ 展示会見学記	35
・ 技術レポート	24	・ 我社の自慢	36
・ サロン	26	・ 豆知識	37
・ 私の挑戦	28	・ こころのコラム	39
・ 行事報告	30	・ 会員の動向	41
・ 業界トピックス	32	・ 名刺広告	42
・ 東冷協日誌	33	・ ひとこと	48



ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構はRaMSを運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています

**「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球
環境の改善に貢献する環境先進企業へ**

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail：contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

収支決算書（令和7年度決算）

（情報処理センター）

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館406-2号室

正味財産増減計算書

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位:円)

科 目	令和7年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
事業収益	293,150
受取補助金	0
雑収益	10,404
経常収益計	303,554
(2) 経常費用	
事業費	
人件費	61,149
会議・研修費	158
旅費交通費	571
通信運搬費	1,160
減価償却費	36,906
消耗品費	28
印刷製本費	4,757
広告宣伝費	3,008
銀行手数料	433
手数料その他	96
租税公課その他	542
外注費	0
調査費	0
自己負担金	0
委託費(システム保守費等)	35,865
コンサルタント料	35,350
管理費	21,784
経常費用計	201,807
評価損益等調整前当期経常増減額	101,747
評価損益等計	0
当期経常増減額	101,747
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
税引前一般正味財産増減額	101,747
法人税・住民税及び事業税	0
当期一般正味財産増減額	101,747
一般正味財産期首残高	27,403
一般正味財産期末残高	129,150
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
III 正味財産期末残高	129,150

貸借対照表

令和8年3月31日

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和7年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
仮勘定	303,554
流動資産合計	303,554
2. 固定資産	
ソフトウェア	0
固定資産合計	0
資産合計	303,554
II 負債の部	
1. 流動負債	
仮勘定	174,404
流動負債合計	174,404
負債合計	174,404
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
2. 一般正味財産	129,150
正味財産合計	129,150
負債及び正味財産合計	303,554